

## 新規受託開始のお知らせ

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記の検査項目につきまして、新たに受託を開始させていただくことになりましたので謹んでご案内申し上げます。

先生方には何卒ご利用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

### ■新規受託開始項目および実施日

【実施日】2022年12月5日(月) ご依頼分より開始

項目コード	検査項目	検体量(mL)	容器	保存	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	備考
4530	【予約検査】 Major BCR-ABL1 mRNA(%)	血液 7.0 (EDTA-2Na 加)	G	冷蔵	5~7	2520 遺伝子	RT-PCR (リアルタイムPCR)		下記参照  ⑫&1
		骨髄液 1.0	H3						

● 備考

- ・凍結保存は避けてください。
- ・受託可能日は月～金曜日です。
- ・受託数の増減により、所要日数が変わる場合がございます。あらかじめご了承ください。
- ・検体採取後、速やかにご提出ください。
- ・他項目との重複依頼は避けてください。
- ・本検査方法ではコンタミネーションの影響がより大きくなりますので、検体採取にあたっては取り扱いに十分ご注意ください。
- ・慢性骨髄性白血病(CML)には【4229】Major BCR-ABL1 mRNA(IS)をご依頼ください。
- ・フィラデルフィア染色体(Ph)陽性急性リンパ性白血病(ALL)には【4530】Major BCR-ABL1 mRNA(%)をご依頼ください。
- ・本検査は、e13a2 及び e14a2 の測定はできますが、e13a3 又は e14a3 の融合 mRNA の測定はできません。また、e13a2 及び e14a2 の融合 mRNA においてもプライマー及びプローブが結合する領域に変異がある場合には、Major BCR-ABL1 mRNA の測定ができないことがあります。

以上

検査のご依頼に関するご不明な点やご要望等につきましては、弊社営業担当、  
または学術インフォメーションまでお問い合わせ下さい。TEL:075-631-6230

## ● Major BCR-ABL1 mRNA (%)

フィラデルフィア染色体陽性急性リンパ性白血病の診断補助・モニタリングに有用な検査です。

BCR-ABL1 融合遺伝子は、9 番染色体体長腕(9q34.1)に座位する ABL1 遺伝子と、22 番染色体体長腕(22q11.2)に座位する BCR 遺伝子の相互転座により形成され、相互転座により生じた異常 22 番染色体をフィラデルフィア染色体(Ph)と呼びます。

この BCR-ABL1 融合遺伝子は、慢性骨髄性白血病(CML)に認められるだけでなく、急性リンパ性白血病(ALL)の約 20%の症例においても認められます。BCR 遺伝子切断点は Major BCR、minor BCR、micro BCR があり、Ph 陽性 ALL における割合は 70%が minor BCR-ABL1、30%が Major BCR-ABL1 と報告されています。

本検査は RT-PCR(リアルタイム PCR)法を用いて、Major BCR-ABL1 の発現量を測定することで Ph 陽性 ALL における診断の補助、および治療効果のモニタリングを行います。

### ▼疾患との関連

Ph 陽性急性リンパ性白血病(Ph+ALL)

### ▼関連する主な検査項目

白血病キメラスクリーニング(定量)  
Major BCR-ABL1 mRNA 定量・定性

## ● 参考文献

Nakamae H, et al: Int J Hematol 102(3):304~311, 2015. (検査方法参考文献)

Branford S, et al: Blood 112(8):3330~3338, 2008. (臨床的意義参考文献)